事例No.	2200
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	福井県敦賀市

事例区分	地域活性化

タグ	・公共施設活用 ・関係人口 ・観光

事例種類	地域資源活用

事例内容・タイトル

遊休不動産を活用したワーケーション施設整備事業

出典

地域力創造推進に関する研究会（第3回）

ローカル10,000プロジェクト 福井県敦賀市
「遊休不動産を活用したワーケーション施設整備事業」

令和3年度採択

【事業背景】

〇北陸新幹線の敦賀駅開業を控え、中心市街地における空き家・空き店舗の新しい活用方法の確立

〇市内で不足している、近年拡大する多様な働き方・宿泊ニーズに対応可能な施設の設立

〇既存の人材育成事業をきっかけとして市民によって設立された法人が行う新たな視点での活用

【事業実施者】 合同会社 FUJIONE（フジオネ）

【自治体・金融機関の支援内容】

〇公費による交付額：

国費（地域経済循環創造事業交付金）：3,375千円

地方費：3,375千円

〇敦賀信用金庫による融資：6,750千円

【取組内容】

〇中心市街地内の旧金融機関施設をリノベーションし、コワーキングスペースとゲストハウスが一体となった施設を整備

〇ビジネスや宿泊以外の利用機会創出のため、地元住民の「学びの場」「交流の場」としても開放

〇市民の生活圏、商業集積地、市内のまちづくりプレイヤーが集まる中心市街地という立地を活かし、人・仕事・考え方の交流拠点を担い、新たなビジネスや価値観を創出し発信していく



外　観



コワーキングスペースイメージ



ゲストハウスイメージ

【地域への貢献】

〇交流人口の増加及び周辺商業店舗での消費増加、遊休不動産活用による景観の向上

〇テレワーク等の新しい働き方の市内での受け皿と普及拠点

〇交流をきっかけとした新規ビジネスの創出による雇用・産業の多様化